

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（9月定例会）会議録
開催日時	平成27年9月14日（月曜日）午後2時から4時40分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、川崎委員、木下委員、沼本委員、服部委員、原委員、原田委員、森田委員、矢野委員、 （欠席）岩崎委員、古家委員、山田委員 事務局：岡本課長、岡本係長、神田主査
議題	議題1 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について （1）パネルディスカッションについて （2）都市社連協ブロック研修会への自主参加について （3）小委員会について 議題2 今後の活動について 議題3 報告 その他 （1）全国社会教育委員連合関係について （2）都市社連協第4ブロック研修会（10月3日）について （3）関東甲信越静社会教育研究大会（11月5日～6日）について （4）地域生涯学習事業企画運営研修会（10月8日）について （5）合築複合化基本プラン策定懇談会（8月18日・8月27日）の報告
配布資料	資料1 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会 実施要項（案） 資料2 平成27年度社連協ブロック研修会自主参加予定 資料3 家庭教育支援の推進に関する検討委員会報告書の概要 東京都資料「家庭教育支援の取組」 ・社教連会報 No.77号 ・とうきょうの地域教育 No.120
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>・平成27年8月定例会議の会議録について、2か所訂正後承認する。</p> <p><b>議題1 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について</b></p> <p>○議長： 10月15日（木曜日）に開催される都市社連協の役員会で、交流大会の開催要項案を提案する予定である。今日の会議では、パネルディスカッションや懇親会の具体的な内容について皆さんのご意見を頂きたい。</p> <p>事務局： 配布資料1に基づき交流大会（案）について説明。 ・概ねの時間配分は実施要項（案）のとおりとし、大会の組立てとしては、ブロック研修会の報告は報告として終わらせ、パネルディスカッションの中で講師に基調提案をしていただいてはいかがか。</p>	

・前回はご決定いただいたパネルディスカッションの講師の文教大学の金藤ふゆ子教授に事務局から依頼し内諾を得た。

(1) パネルディスカッションについて

議長：

今年度のテーマは「学び行動する市民が創造する循環型地域学習の社会を目指して」だが、これを念頭に置くと、講師の方にはどういった内容の基調提案をお願いしたら良いだろうか。

委員：

学び行動する市民による循環型学習社会とはどんなものかについての確認の話をしていただくのか、学び行動する市民が実際どういう活動をしているのか、それとも、そういう社会になるために社会教育委員としてどう活動しているのかといった事例を聞きたいのか、内容を絞ってお願いした方が良いと思う。

○委員：

基調提案でお願いする内容としては、市民が学び、行動し、創造するという循環とはどういったことなのか、社会教育委員としてどうしたらいいのか、創造に向けた先進事例の3点があると思う。どれかに絞ったほうが良いのかしれないが、時間内で出来るかわからないが3つそれぞれ必要だと思う。概念的に言われている市民が創る地域の循環型学習社会はこのようなものという概念整理があって、具体的に地域でこんなことをやっているなど、社会教育委員としては、どんなことに取り組めば推進していけるのか、といった3つあれば良いと思う。

○委員：

循環型学習社会は昔から求められていることだと思うが、なかなか実現しない状況がある。講師には、なぜ進まないのかを課題などを踏まえ、その課題を打ち破るためには、社会教育としてこういうことができるのではないかと、課題を打ち破ったような事例について話していただければと思う。

○委員：

循環型地域学習社会を実現するために、他の自治体の社会教育委員が活動している具体的な事例を聞き、自分たちの活動の参考として持ち帰ることが出来る機会になればよいと思う。市民が何をやるかは、その地域の持っているものや歴史とかでも違うので、社会教育委員としてどうするかという話が聞きたい。

○委員：

ディスカッションの導入として、循環型学習社会の概念について触れて頂き、そういった地域づくりのためにはどうしていったらよいかといった話につなげていただくと良いと思う。

○委員：

循環型学習社会の形成においては、社会教育委員の役割は橋渡し役になると思うが、参加者が社会教育委員の方たちなので具体的に望ましい社会教育委員の姿を話していただいて議

論をする方が、良いかと思う。

委員：

基調提案では、社会教育委員の活動の仕方や考え方を示していただきたい。その内容をいきなりパネラーに振るのではなく、こういうことを議論、検討して欲しいといったテーマを設定しておいた方が、議論として進みやすいのではないかと思う。時間がないが、焦点を絞って社会教育委員のこれからの望ましい姿、具体的な事例を提案し、議論出来ると良いと思う。

○委員：

循環型学習社会というと抽象的すぎる。講師には、そこをかみ砕いてお話いただき、パネラーの方からは、それぞれの地域を代表して、自分の社会教育委員の経験をもとに、具体的にはこういうことで、こういう形で活性化しているとか、停滞しているという話が、自由に出し合えれば良いと思う。

## (2) 都市社連協ブロック研修会への自主参加について

議長：

第3ブロックの研修会が8月29日（土曜日）に町田市であり、内田委員と事務局とで参加してきた。このブロックではこういうことに参加者が関心を持っている等、パネルディスカッションの進め方や基調提案内容に参考となる部分があると思う。配布資料2のとおり参加を予定しているが、他にも希望される方があれば事務局を通じて申し込むため、事務局まで申し出てもらいたい。

## (3) 小委員会について

○議長：

今後のパネルディスカッションと懇親会の詳細については、委員の皆さんで分担して考え方や問題点を議論し、次回の定例会に、提案していただきたいと思う。

・決定

### 1 パネルディスカッション検討小委員会

日時：10月2日（金曜日）午前10時～

メンバー：須永委員、原委員、矢野委員、原田委員、木下委員、沼本委員

### 2 懇親会検討小委員会

日時：10月5日（月曜日）午後2時～

メンバー：内田委員、服部委員、森田委員、川崎委員

## 議題2 今後の活動について

配布資料3に添って事務局から情報提供

1 現在、国から「つながりが創る豊かな家庭教育 親子が元気になる家庭教育支援を目指して」（平成24年3月・家庭教育支援の推進に関する検討委員会）今後の家庭教育支援のあり方が示されている。

- 2 国や東京都も家庭教育支援の取組に対する補助金事業を実施している。
- 3 庁内では、「家庭の教育力に向けた取組み」を課題のひとつとして、子育て支援部や教育指導課などで取り組んでいる。
- 4 社会教育においても、公民館事業や図書館事業、地域生涯学習事業等により家庭の教育力向上に資する事業を実施している。
- 5 こういった現状を踏まえ、今後は、地域全体で子どもの育ちや家庭の教育力の向上をささえるため、庁内で連携し子育てや家庭教育支援における体制を整えていくことが求められている。

・主な意見

委員：

乳幼児や子育て支援について、社会教育委員として関わることを考えるには、学習の必要があると感じる。皆さんできちんと勉強していく必要があると思う。

委員：

家庭教育支援に関して、西東京市ではどういう現状があって、試みがあるかなどを調べてみる事は我々で出来ることだと思う。放課後子供教室の中でも家庭教育支援に関するもの、プログラムがあるかもしれない。社会教育委員として、地域に何があって、何がないのか等、調べて分析してみることはやってみてもよいのではないだろうか。

委員：

個人的に子供の貧困について本を読んで勉強しているが、家庭教育全体に対して、社会教育がどのように関わっていくとなると難しい気がする。例えば、テーマがあって、そこから家庭教育を見ていくという方向だとわかりやすい。

○委員：

学校でも家庭教育支援の取組を研究しているようだ。

委員：

家庭教育支援を考える場合には、学校との連携が必要だと思う。

委員：

学校で考えている家庭教育と地域で考えている家庭教育のギャップがないよう、足並みを揃える必要がある。

委員：

親の視点が欠けていると思う。親がどうしてもらいたいか的大事だと思う。

委員：

家庭への支援に関しては、貧困や虐待など専門家がきちんと関わらなければならない事項がある。家庭をとりまく環境が変化している中で、普通の家庭でもいろいろな心配事が生じている。そうした事柄には専門家ではなくても地域の人のサポートで良くなることもあると

思う。まずどういうことがあるか、調べてみる必要があるではないか。

○委員：

家庭教育支援を考えていくためには、社会教育委員自身も勉強していかなければいけないと思う。今年は社連協の会長市として大きな行事があるので難しいが、来年は家庭教育と社会教育の関係をまず勉強していければと思う。

○議長：

家庭教育支援については、今後も考えていきたいと思う。

### **議題3 報告 その他**

(1) 全国社会教育委員連合関係について

議長：

6月会議で全国社会教育委員連合会関連の資料として配布した「組織の在り方に関する検討委員会報告書（案）」だが、連合会の組織を含めて、財政の立て直しについて提案されている。今後これに関してご意見をお聞きすることになるかと思うので、お読み頂くようお願いする。

(2) 都市社連協第4ブロック研修会（10月3日）について

○議長：

第4ブロック研修会の事前の打ち合わせが8月27日（木曜日）あった。テーマは、「地域に学び、地域で生かす」ということで、秋津祭囃子の事例発表とブロック研修では珍しく、テーマ別の分科会に分かれ討議を行うという内容である。

・日時：10月3日（土曜日）午後1時30分から4時まで

・テーマ：地域で学び地域で活かす

・内容：事例発表と交流会（グループ討議）

・会場：東村山市市民センター

・参加予定：矢野委員・原田委員・須永委員・川崎委員・沼本委員・原委員・内田委員・木下委員・森田委員・服部委員

・集合：午後0時30分こもれびホール前集合（マイクロバス利用）

(3) 関東甲信越静社会教育研究大会（11月5日～6日）について

○事務局：

委員11名が参加する。分科会はそれぞれ希望通りの分科会となった。詳細は次回会議でお知らせする。

(4) 地域生涯学習事業企画運営研修会（10月8日）について

○事務局：

事業企画についての事例報告とグループ討議を行う研修会が開催される。社会教育委員も参加可能である。希望者は、申し出て欲しい。

(5) 合築複合化基本プラン策定懇談会（8月18日・8月27日）の報告

※配布資料に基づき報告

○沼本委員：

・第2回目は中央図書館と田無公民館を見学し、施設の課題等について説明を受けた。現地視察した後、合築する場合の施設について必要な機能などをだしあった。地域住民の防災拠点、ボランティアの拠点等があったら良いという意見があった。

・第3回目は市民会館を見学し、望まれる施設のあり方について話し合った。

○服部委員：

・今回、基本プランの策定懇談会だということなので、委員としては、今後に向けての意見を出し合う場であると確認した。

・次回は羽村市と行田市の複合化施設を見学する予定。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（9月定例会）は終了する。

※次回会議 平成27年10月19日（月曜日）午後2時

以上